

経営比較分析表（令和5年度決算）

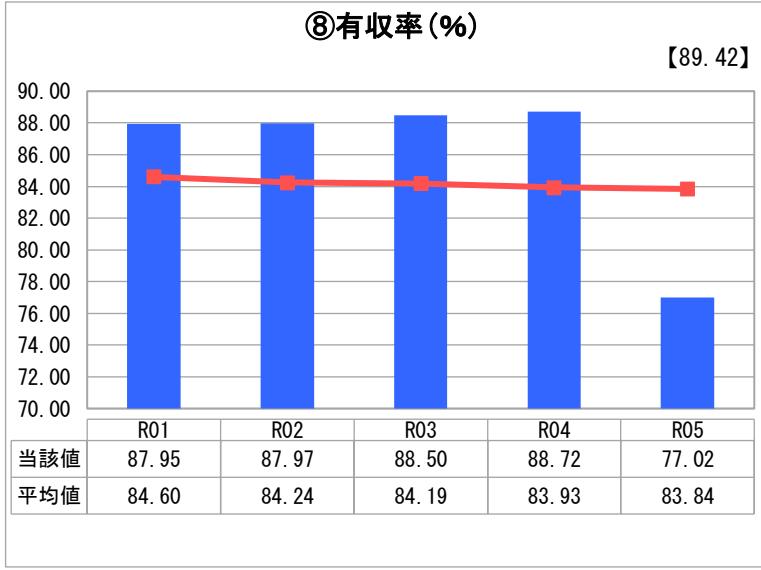
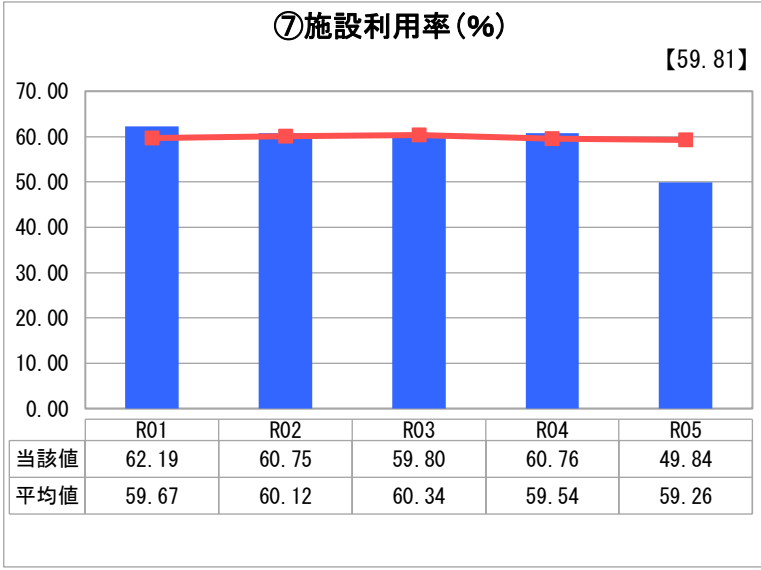
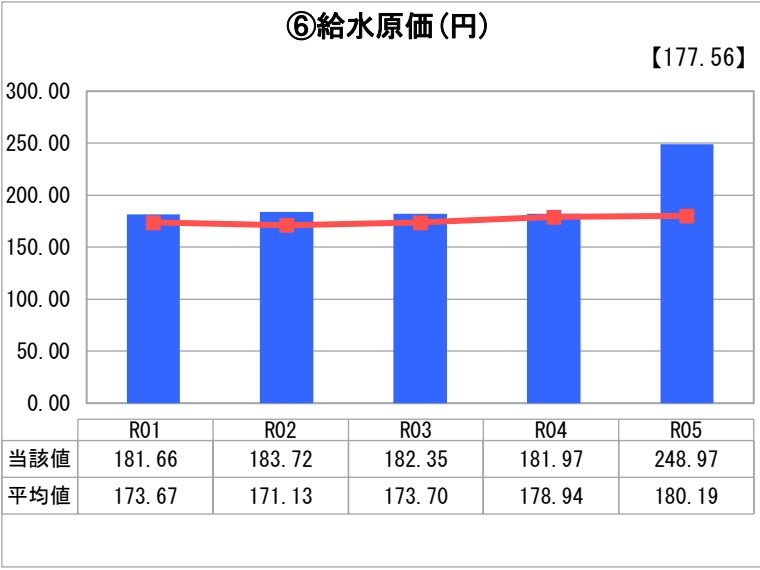
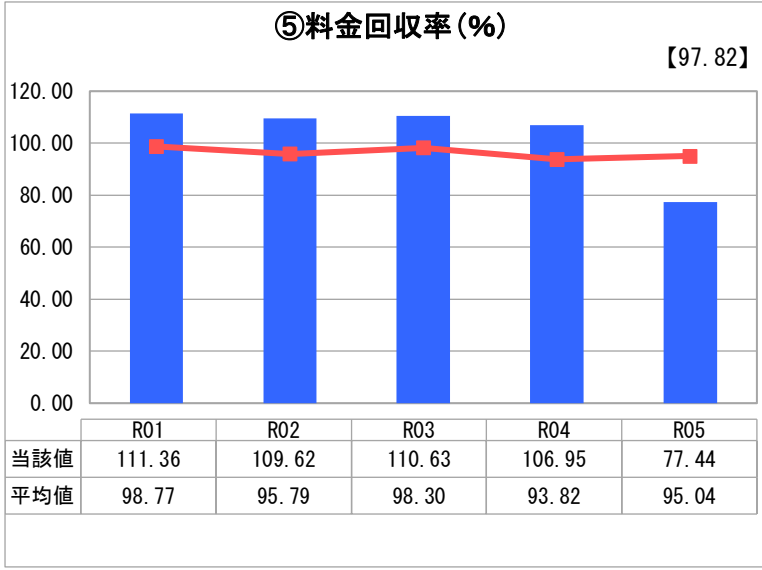
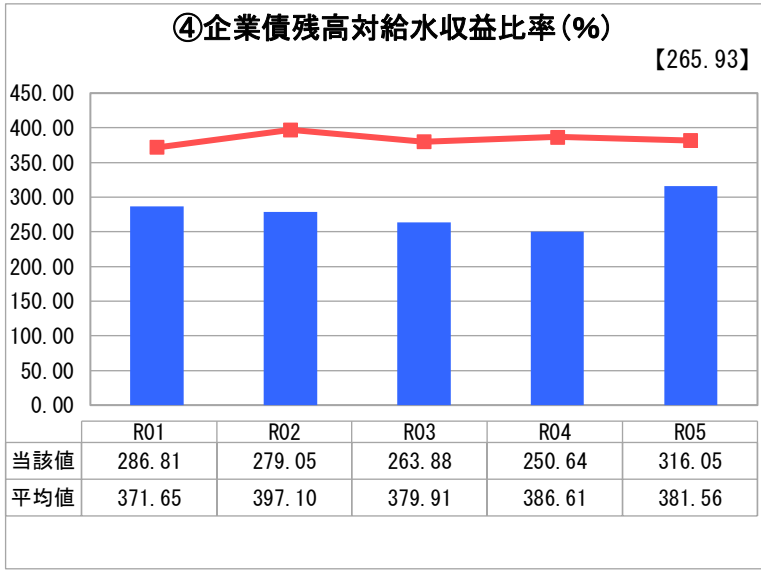
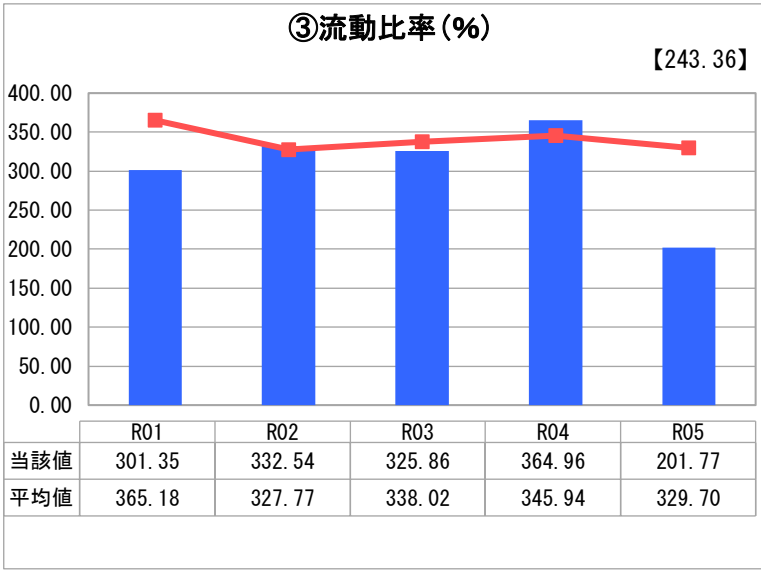
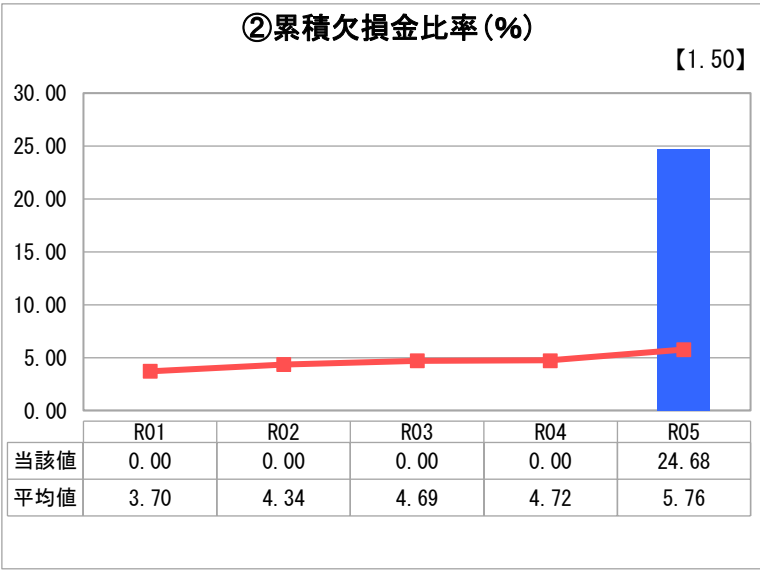
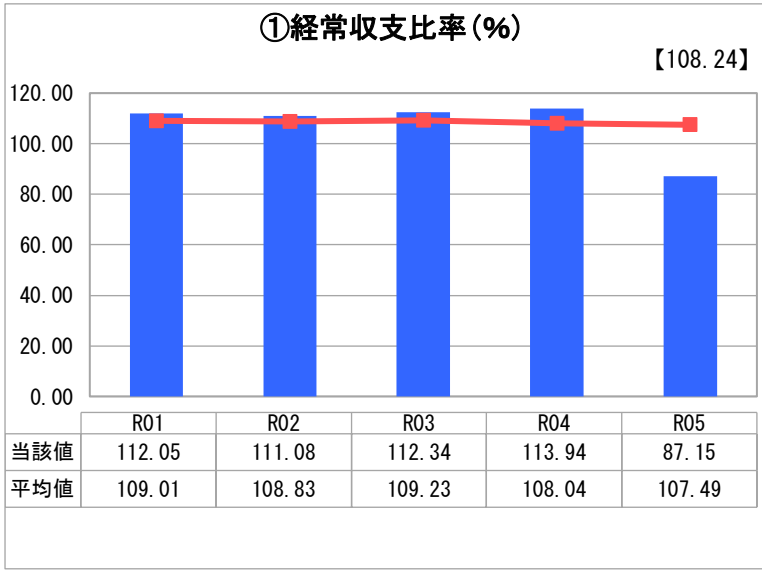
石川県 七尾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	76.69	94.83	3,383	

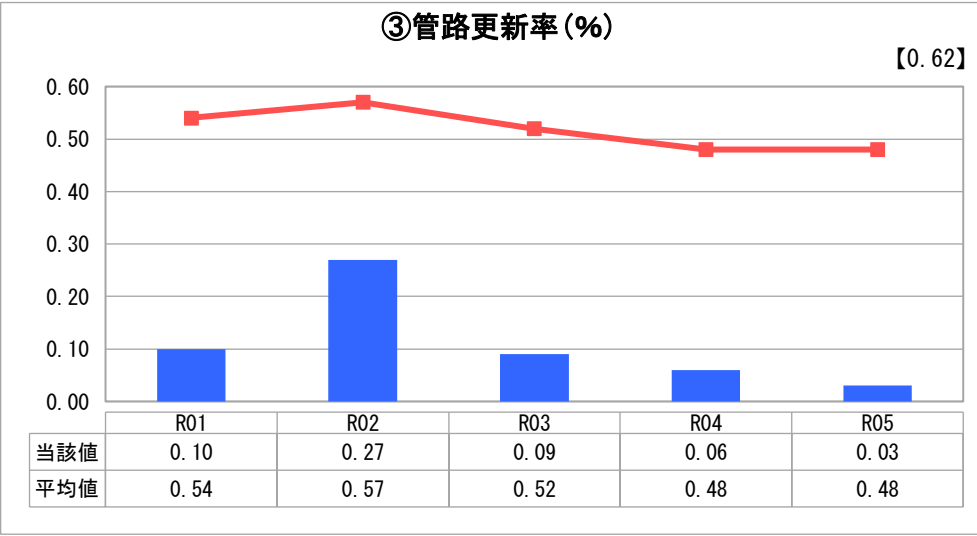
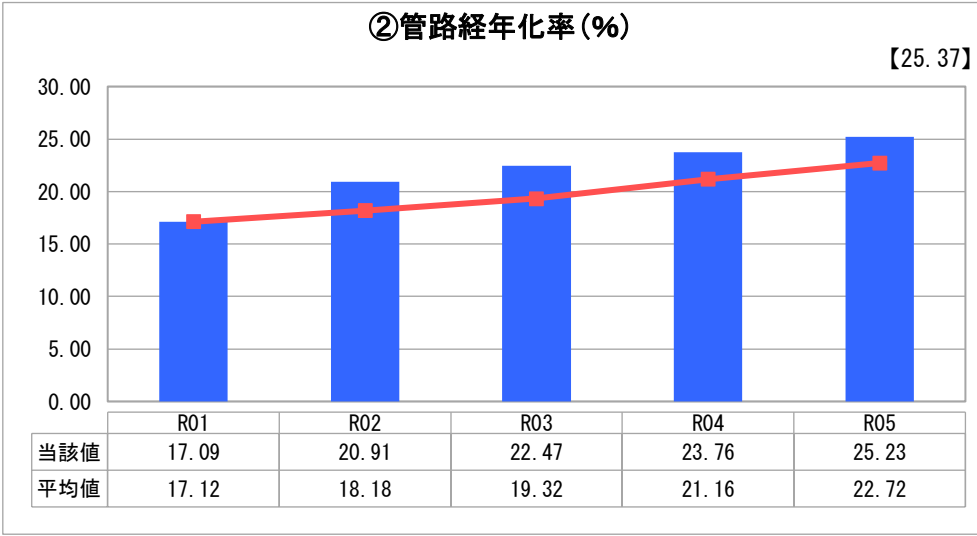
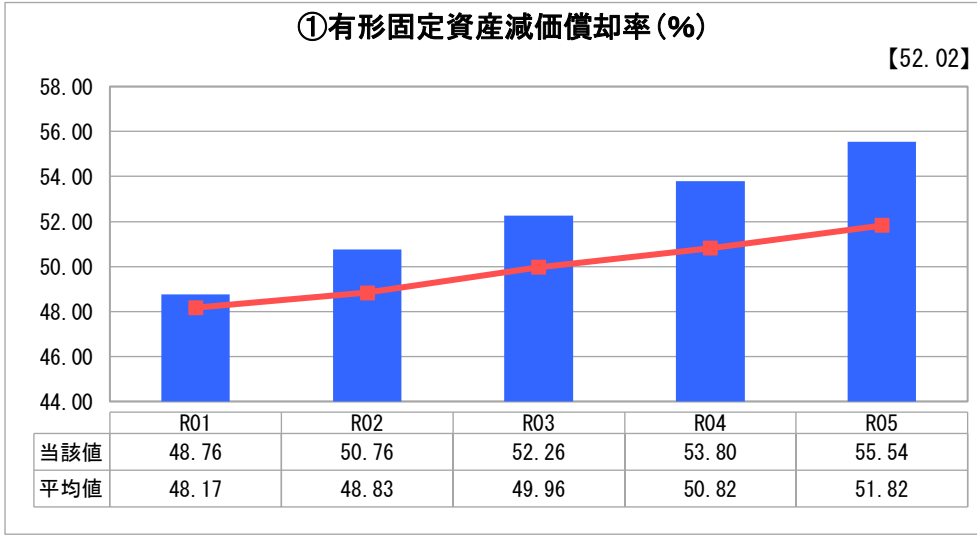
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
48,268	318.26	151.66
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
44,904	151.08	297.22

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、⑤料金回収率及び⑧有収率については、令和6年能登半島地震による断水の影響により給水収益・有収水量が減少したため、大幅に減少している。また、②累積欠損金が発生したことから経営状況は悪化している。⑥給水原価も同様の理由となる。

③流動比率は、類似団体の平均より低いが100%を超えているため支払能力は確保されている。

④企業債残高対給水収益比率は、借入を抑制しているため減少していたが、給水収益が減少したことにより数値が上昇している。

⑦施設利用率は、令和6年能登半島地震による断水の影響で配水量が減少したため、利用率が低下している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び②管路経年化率は、年々耐用年数に達した管路が増加しており、今後も資産の老朽化が進むことが予想される。また、この老朽化の状況が震災による長期間の断水の要因であると考えられる。

③管路更新率について、管路更新・舗装・施設更新を順次行っているが、更新費用を抑制していたため、類似団体の平均より低くなっている。

今後は、災害復旧と併せ、石綿管及び老朽施設の更新等を早急に進めていく。

全体総括

震災後の人口の流出や事業所の未復旧などにより、中長期的に見て今後も給水収益の増収は難しい。

また、施設の老朽化により維持管理費・更新費用の確保も必要である。

H25年度から窓口業務を外部委託し、業務の効率化・職員数削減・収納率向上を図っている。また、R3年度からは施設管理の包括委託を開始し、費用の平準化・経費削減に努めている。今後は有収率向上に向けて漏水箇所の探索及び修繕、老朽管及び施設の更新・整備等を計画的に行っていく。また、不用品資産の売却の検討及び料金改定の検討も必要である。